

水路部

軍令部

次長

燃料

軍務局長

恒第十号

伊達 第一局 第二局 第三局

軍務局長 諸國頼之殿

第一課長 第二課長 第三課長

第一課長 第二課長 第三課長

片桐

山

水雷艇連 航報 告 及 進 達 候 也
四月十日

機關課 造船課

軍務第一六四號

水雷艇連回航報告

1494

水雷艇運回航報告

本艇明治廿二年六月十六日英國倫敦おボラーヤロロソ會社、於テ起
 工今廿二年七月八日進水全月三日 ティムス河口マプリン標柱附近
 於テ三時間、航繞公試運轉ヲ行ヒ九ノ成績ヲ得

排水量 三一二噸、 平均吃水 五呎三吋

速力 三一節三八七、 汽機回轉 三九二〇八

實馬力 五四〇七、九 汽 壓 二三一、六六

旋壓通風 一吋一六七七、

今年八月廿八日竣工領收九月十四日復發回航員鑄念丸ヲ着英今月
 十七日ウエストインディヤ、ドウクニ於テ總員乘艇畢旗揚揚式ヲ行

七回航準備ヲナス

倫敦至グリーンハイス 航程 十三里

明治廿二年十月十二日午前六時ヤロロソ會社ヨリ先人ヲ乗セ船渠ヲ

出テテリス河ヲ下リグリーンバウスニ至リ其附近ニ於テ羅針儀修正ヲ
行ヒ午後四時縁ノ台塔長ニ交渉シ置タル浮標ニ繋留ス
碇泊中天候 十三日 天候晴穩ナリシゴナ雷午前ノ南東風強吹ニ力
四乃至五ノ遠ニナリ且日午ハ和風トナル

グリーンバウス至ホーツマウス

航程 百二十六里

十月十六日水先人ヲ僱ヒ午前九時廿分出航 テリス河ヲ下リ本郡田航ノ
途ニ就クグリーンバウス水道ヲ航過シノースフォード燈航ヨリゴール燈航ニ據
針午後三時五分 トーバー海峡ヲ過キ五時五十分 カンジ子ス燈台ヲ
右舷ニ撞一里ニ至リ七時十二分 ロナルソベイン燈航ト並ヒ十一時一分
ヲワリス燈航ニ達シ十七日午前零時五十分 スポットヘドニ夜泊シ天
明ヲ待ツ令十一時十五分 軍港部波遣ノ水先人乗艇直ニ碇留令四十
五分 州ノマウス軍港内第二浮標ニ繋留ス
天候 十六日 天晴南東ノ鼓風吹流キ河口波荒クノオースフォード

ニ至リシ頃左舷艇前ヨリ破浪ヲ受ケ艇ノ動揺廿七八度ニ達セシガ
漸々針路ヲ西要スルニ候ト追浪トナリ動揺大ニ減シ大抵十度内外ニテ
鍋地ニ達セリ

破浪記事

天候

破浪中概テ東風若ク南東ノ輕風ニシテ天象靜穩

淡水

入港後直ニ淡水ヲ購取セシムル後軍港部ヨリ配給ヲ受ケタリ

水先人

軍港内ニ入ラントスル艇艇ハホースヲト附近ニ於テ軍港部

ヨリ派遣ノ水先人ヲ乘セ入港スルヲ要ス

訪問

鎮守府司令官、軍港部長、參謀長

おーつマウス 至おートラド

航程 二十九里

十月二十日午前九時出帆港外ニ於テ軍港部、水先人ヲ却ロシワリナー燈
艇ノ西側ヲ過キセトカサリレ爾ヲ右舷ニ横ルニ見ラシヤニナル
燈艇ノ北側ニ向フ午後二時三十分燈艇ヲ左舷ニ横ル一里ヲ見ラ

録ニ

オートルランド港に向つ港口に於て水先人ヲ催ヒ三時廿六分港内南東
側ニ投錨

天候 出航ノ際多少ノ霧アリシカ漸々快晴トナル凡候ハ南東ノ軟
凡シテ海上波浪下リ航ノ最大傾斜十八度ナリ
訪問 本港警備先任艇アレキヤンドリヤ

オートルランド至プリマウス

航程 九十三里

十月廿一日午前八時出航を九時二分シヤレブル燈船ヲ北四十度西二里ニ見
テスタートポイントヲ四海里離ル、如ク操針午後一時四十五分今角燈台
ヲ北六度西凡ノ六里ニ過メ海岸凡ノ二里半ニ沿テ航シプリマウスニ向フ
三時五十五分港外ニ於テ水先人ヲ催ヒ四時二分 プリマウスサウンドニ投錨
天候 本日朝来雨波淫クシヤレブル燈船ヲ発見スルニ困難セリ凡候ハ
昨来ノ南東程凡ニシテ僅カニ余浪アリオートルランド角ヲ旋リテヨリ
追風トナリ航程平靜ニキ項、ヨリ波大ニ散シ至程ノ東風トナル

海流 沿岸潮流頗ル強ク順潮ニ乘テスタートポイントニ操針セシ

ガ全角ヲ過シキルニ里沖合(南方)ニ壓流セラレタルヲ発見セリ該

角ヲ過シテヨリ海列ナル逆潮ニ會ンタリ

破泊記事

廿三日午前七時石炭搭載ノ為ノ浪艇ニ曳カレカワトウオウタノ内ヲトレンヤル程

橋ニ攀留 廿五日午前九時棧橋ヲ離シカウヅロニ降仰 廿日二日天候

不良ノ為ノ函ニナリシヤル棧橋ニ攀留 廿七日午後四時ハモリス岸港へ

移ル

石炭 録ノ三井物産會社ト特約ヲ結ビ当地ニラバルラミール商會ヨリ

購入セシモノ品質良好ナラス但シ當時英國ニ南西ニ戰端ヲ開キタル結果炭

質賤貴トシ故次等ノ石炭ヲ供給セシカ如シ

淡水 該商會ヨリ得タル水质善良ナラス置港部ニ依頼シテ良好水ノ

供給ヲ受ケタリ

三

訪問

鎮守府司令長官 守備司令官

天候

廿日ヨリ廿五日迄天候平穩晴雨計三〇三〇ヨリ三〇二五同ク

昇降ニ至程ノ東風又ハ南東風ナリシカ廿六日ヨリ晴雨計漸次降下シ風

向南ヨリ西ニ廻リ濃雨列シク至リ長崎港内ニ滾入ス廿七日午前南西

和風雨ヨリ中トテ吹来艇体列シク動揺シ晴雨計急降天候不良ノ兆ヲ

呈ス而ノ艇位陸岸ニ近キヲ以テ汽鐘ニ突火ス午前九時廿五分鍋地ヲ替フ

午後四時晴雨計最下二九三ニ降リ之レヨリ漸々上昇シ風力稍衰フ

廿八日風向西ヨリ少シク北ニ偏シ暫時晴換様トナリ輕風吹来夜半雨ニ南西

復シ晴雨計下ル 廿九日疾風暴雨トナリ晴雨計三九五ニ降リ終日降雨

三十日午前二時半晴雨計三九八ニ降リ風力俄カニ減衰シ北西ノ輕風トナリ晴

雨計上昇ヲ始メ然レモ天候尚ホ是ラカレヲ以テ午前一時四十分雨ニ鍋地ヲ移

廿一日北西輕風或ハ北東軟風吹来シ晴雨計急降シ三〇二ニ降リ夜半

雨ニ南西ニ復シ晴雨計下ル 十四日風力益々増加昼頃ヨリ南方ノ

疾風トナリ天候愈々陰悪晴雨計暴降驟雨時々来襲 二日天候
 前日之曇ラス午後ニ至リ風南南西ニ変ス而シテ連日ノ曇天鋪地音希ナラ
 カルヲ以テ午前十一時十五分迄ハ或レハ雨ニシヤハ機橋ニ至リ晴雨計ニ九
 三ニ、最下ヲ示シ緩々上昇 三日依然南西風吹来天曇リ晴雨計ニ午前
 八時三九、四四ヨリ雨ニ降下シ正午風力頓ニ増加急雨之ニ来シ殆ト大降瓦
 トナリ晴雨計最下ニ九七ヲ示ス午後四時半風力俄ニ減衰晴雨計暴降
 ツ燈ハ 四日午後疾風トナリ天曇リ驟雨辱々到ル 五日午前一時頃ヨリ
 西風ニ變シ曉ニ至リテ力衰フ正午驟風トナル晴雨計ニ九七ニ 六日午
 前妻向風吹来正午南西、疾風トナル然レモ晴雨計ニ上昇ヲ続ケ最
 高ニ九八ハヲ示ス 七日風力稍々増加晴雨計降下ヲ始メ荒天ノ兆ヲ
 顯ス午後四時鋪地ヲ示ホシト軍港内ハモトク暴ノ涼標ニ致シ自セ
 シガ六時頃ヨリ風力頓ニ加リ急烈ニ驟雨ノ伴ヒ雨ハ大降風ニ達シ
 鋪地、軍港地ト航、一進一退ト相待テ艇体ニ非常ノ震動ヲ感シ終

四
 一
 一

ニホースホルニ劇障リ生スルニ至レリ 八日午前四時晴雨計三九三ニノ
 最下ツキス^金七時風向西ヨリ少シク北ニ偏シ陰晴定ラズ 九日午後
 降雨南西疾風トナル 十日午北北西風トナリ力稍ヤ減ス晴雨計
 次第ニ上昇 十日^強北風トナリ 十一日^夜半ヨリ至輕風トナリ
 晴雨計三〇四〇ニ^上昇^候候^平靜ナリ 十三日^早朝^濃雨^務アリ晴ルニ
 後ニ晴雨計漸々降下シ南々西^輕風^徐吹ス
 之ヲ要スルニ晴雨計南西風ニ降リ天候險惡偏北風ニ上昇シ好天氣ヲ
 求ニ^寒暖^計降下スルヲ常トス
 此ノ南西^疾風^吹来^{スル}ヤ^數週ニ^亘ル^毎年ノ^例ニ^テ本^航之^實ニ^此ノ^惡
 時機ニ^逢^遇セシナリ

出航

如斯^フリ^マラス^破泊^後天候連日不良ニシテ出航ノ期ヲ待ス初メサウ^ド
 破泊セシモ荒浪ノ爲メ^航休^ノ動^搖甚^クシク^錫地^ヲ移^ステ^三回^出且^ツ

鍋匠ヲ保ツニ團ハサ以テ十月二日カトウオリノ外ニ遊々居ルノ四日十月
 七日軍港司令官、許可ヲ得本航ヲハモリス軍港内浮標ニ撃命令港
 ニ是レノ七日間天候次第ニ平靜ニ歸スル以テ十三日午後三時出航ス
 港口ニ於テ自差則定ニエギストシ燈台ト並テヨリ針路ヲウーシヤン島西
 方二十里ニ定メノ航行セシカ夫候次第ニ不良トナリ破浪高起激浪航内
 ニ侵入シ益々荒天ノ兆見サ以テ凡ソ四十里ノ沖合ヨリ針路ヲ変シブリマ
 ウスニ帰航十四日午前三時十五分サウントニ返航
 天候 十四日午前南方和風午後南西ニ復ス 十五日偏東ノ和風ニシテ
 晴天 十六日午前軟風夜ニ入り平静トナル
 天気豫報 本港在泊中ニ連日鎮守府ヨリ夫気豫報ヲ得海味候
 ビスケリ増ノ模様ヲ豫知スルノ便ヲ付其精確ナルノ日々ノ夫候ト符
 合セリ

フリマウス至フレスト

航程 二百十七里

五

十一月十七日午前十時四五分出帆午後零時廿四分工千ストン燈台ヲ右舷正横

瓦ノ半里ニ見テ予シヤン島ノ西方二十里ニ操針ト人時廿八分今島燈台ヲ

東風ノ十三里ニ見テ予ニイスター岬ノ西方十五里ニ定針トビスケル洋ヲ横過セント

二十日午前零時六分風波荒ノ航ノ動揺甚ク航海困難ヲ感スルヲ以テアレスト

へ向テ定針午前八時四五分港口ニ於テ水先人ヲ僱ヒ二十時商港内ニ碇錨

天候 快晴海味ヲ通過シ予シヤン島ニ至ルニ南東ノ和風波浪ヲ屯

航石橋ニ至テ航ノ動揺大抵廿五ノ度ナリカビスケル洋ニ入りテヨリ波浪

益々強大トナリ動揺卅ノ度ニ達ス

海流 初メエチトシ燈台ヨリナシヤン島燈台ヲ廿里西方ニ隔ツル如ク

操針セシカ著シク東流ヲ感シ該燈ヲ南東ニ有見セシ月ノ航位瓦ノ七

里東方ニ偏セリ

碇泊記事

天候 入港当日午五時迄南ノ南風盛吹セシカ午後廿日迄

凡向区々ニシテ至程甚ク、魚凡、天概、曇リ霞、下リタリ

訪向 鎮守府司令長官在港、應、暹、二ヤ、レ、シ、ミ、号、及、練、習、艦、ブ、レ、ン、号

淡水 軍港部へ依頼シテ供給ヲ受ク

アレスト至里斯本

航程 七百十里

十月廿一日午前九時出帆、アレスト水道ヲ出テ、廿一時五十分ニリ、チ、ウ、シ、ン、

夕ニタル浮標ヲ九、船、極、瓦、ニ、鏡、半、ニ、見、テ、西、班、牙、ノ、北、西、端、ト、リ、テ、岬、ノ、西、方、

十五里ニ至リ針 廿三日午前四時南東ニ操針ス、但シ前日未凡浪ノ為

ノ航位甚クシク西方ニ壓流セラレシヲ以テ陸岸ニ近カンカ有ナリ、今、八、時、

三十分、ベヨト内光燈台ヲ北西ニ西九里ノ位置ニ於テ航位ヲ確定シ、バ、リ、

ンク、嶋、水、道、へ、向、テ、廿四日午前四時五十分、水、道、通、過、午、五、時、二、十、分、

四、カ、燈、台、ヲ、南、ニ、テ、度、東、九、里、過、キ、針、路、ヲ、変、シ、テ、カ、ス、ケ、リ、塘、ニ、向、テ、

午、八、時、十、五、分、左、塘、ニ、返、向、水、先、人、ヲ、催、テ、午、五、十、分、出、帆、北、水、道、ヲ、

経、テ、チ、ウ、カ、ス、河、ヲ、溯、リ、午、十、時、五、十、分、里、斯、本、港、浮、標、ニ、接、向、

天候

乃レスト出航ノ際一日曇天海上平穩ナリシカヒスケル憐ノギ途ヨリ

南東風吹来廿二日午前一時頃より風力増加波浪極大トナリ航ノ動揺甚

シノ風浪之候ヲ操針スル止ムヲ得ルニ至リ然モ晴雨計ノ降下甚ク

カラス午五時頃ニ及テ風浪次オニ減衰廿三日午前零時頃始メ

魚風トナリ午後九時頃南東風向ニ吹来廿四日曉ニ至リテ益々強吹ノ

北ナルニ依リ里斯本港ニ入り風静ヲ待フ

海流 ヒスケル憐ヲ航向ニツイニスタリ岬ニ至ル間南東風吹テ受テ波

浪極大動揺烈シク天剛ヲオス能ハズ推測ニ依リ航位凡ソニ十五里西方ニ

偏セリ又レ波浪ニ及テ操針セシニ基クモノナリ廿三日七午ヨリハリシク

島燈台ヲ発見スル至ルマテハ南東和風ノ為メ毎時四分里西方ニ壓流

セラル、ヲ感セリ

碇泊記事

天候 概テ偏東輕風ニテ天氣晴朗ナリシカハ碇當日ニセントビンセ

ノト岬附近、南西風、吹上荒浪アリシト云フ

河流　チカズ河、下流ナルヲ以テ潮流甚ク、底ク爛潮、陸暫時ノ緩地

アルノミ

糧食は水　市中ノ商人ヲアレシ氏ヨリ購取ス甚ク高價ニシテ英國ニ比シ大

差アルヲ見ル　只淡水ノ價非常ニ廉ナルノミ

訪問　カールス第一世号(旗船)

里斯本至シアラルター

航程

三百ノ里

十月廿六日午前十時十分出航本十時半港外於テ水先夫ヲ卸ロシセントロシセン

ト岬外五里ニ探針午後八時五十分岬ノ向キカクレス燈光ヲ肉眼ニ攝

七里半ニ見テシアラルター海峡ノ向ヲ廿七日午台四時三十分全海峡ヲ向

キ湾内へ入ル　廿五時四十分港内ニ投錨

天候　出航ノ陸ニ北東輕風ナリシガ夕方ヨリ南東風トナリ力五乃至六

晴雨計僅カニ下降ヲ示スニ然レモ乱雲断流飛行ニ驟雨屢々到ル而シテ

録
七
録

海峡ニ直ツクニ渡テ潮流ノ為ノ波浪頗ニ盛大トナリ滾動四十度ヲ越ヘ
津州ニ向テ操針スル能ハズ波浪ノ状況ニ志シテ漸々変針淺藁漸ク
港内ニ入ルヲ得タリ

此日激浪艇首ヲ打テ跳躍飛散絶ヘズ艇楫ヲ侵埽シ為ニ司令
塔右側防波幕ヲ破リ通風筒坐ヲ挫折セリ

海流 セントビンセント岬ヨリジブラルター間ニ激浪中ヲ進航セシ故天漸ク
オス能ハズ交叉方位ニ仰テ持スルニ稍ヤ向岸流ヲ感セシモ、如此

砲泊記事

天候 晴陰相半ニ北東和風連吹晴雨計是ト三ノ一セニ停止

隔離 里斯本經用ノ故ヲ以テ向テ九日間ノ交通遮断ヲ行シ他艦

船ト全ク隔離ノ位置ニ砲泊セシメラレタリ然レモ該地ニ於テハ兵員ノ上

陸ヲ許サズ一同健全ヲ保ラリ

里斯本ニ其當時悪疫流行地ニ非カルモ葡葡牙各港ヲ經用スルモノ

ハ皆以、不孝ニ爲、過スト云フ

炭石糧食 石炭、軍斯オ、テ搭載ヒ、テ以テ、地ニテ補足セス

淡水ハ水質悪シ、殊ニ多量ノ塩分ヲ含ヒ、テ以テ僅カニ使用水ヲ取リ

シ、ノ、ニ、其他ハ、蒸溜水ヲ以テ之、ニ充テテリ

生糧品、毎朝、舷側ニ持来リ、更ニ不便ヲ感セサリシ

在港軍艦 〆セスチ、ツク、形、ノ、大、崎、味、艦、口、ハ、ル、ス、形、ニ、隻、其、他、數、隻、ノ、砲

艦及駆逐艦

シ、フ、ラ、ル、タ、ー、至、モ、ル、タ

航程 千〇七里

十日三十分前、十時出航、至、四、十五、分、日、ロ、ツ、ハ、角、ヲ、九、艦、七、横、瓦、羊、里、ニ、見、テ

カ、夕、燈、台、ヲ、十、里、離、リ、如、ク、探、針 十二日、一、日、午、前、二、時、七、分、台、燈、台、ニ、並、ビ

ノ、ロ、ス、岬、ノ、南、東、十、里、ニ、表、針、干、台、零、時、四、十分、台、燈、台、ト、ラ、ス、ホ、ル、ミ、カ、ス、島

ヲ、一、線、ニ、見、テ、ホ、ル、ン、テ、ラ、島、ノ、南、方、十、里、ニ、表、針 二日、午、前、一、時、五、十分、台、島

燈、光、ヲ、九、艦、七、横、瓦、ノ、一、里、早、ニ、見、テ、カ、フ、レ、ラ、島、ア、レ、シ、オ、ラ、燈、台、ノ、南、方、十

八

日ニ操針を一時七分全島ト並ニサレシニヤノ南端トロ島ノ南十里ニ至
 針セシカキ命ニ及テ北西風吹テテニ庵ノ波浪底大艇ノ滾動也八度ニ達
 航海頗ル困難ヲ感スルヲ以テ午命八時針路ヲ亜非利カ海岸ニ轉シ
 ガリ夕島ニ向テ三日午命一時廿五分全島東南ヲ右横凡ノ三里ニ見テ
 カニヒツク燈台ヲ指ス至七時全燈台ニ並ニ荒浪ヲ避クル方ノ八時十分
 ヒアト燈台ヲ旋リ九時廿五分ヲユニス海濱ヲアリ十岬嶺地ニ投錨
 四日午前風浪稍ヤ靜ムルヲ以テ十時四十五分全艇午命二時四十五分ボ
 岬ヲ南四十度西風ノ三里ニ見テハンテラリヤ島ノ北方七里ニ至針を七
 時三分全島燈台ニ並ニゴゾ島ノ北方十五里ニ操針九日午前七時十八
 分全島燈台ニ並ニ之レヨリ陸岸三里ヲ隔テ航行至九時四十分島
 大島ヲサレトクレックニ投錨
 天候 出帆ノ日ヨリ十二月二日迄晴天ニシテ夕岬ニ至ルマテニ至艇ノ
 南西風吹来海上平穩全岬ヲ過キ北風トナリカニ乃至三日午前風向

漸次北西ニ變レキ后站レト疾風トナリ天候次第ニ悪シク三日陰鬱波浪
島大艇尾甲板ヲ襲ヒ後部諸室ニ侵入スルニ至レリフアリ岬鋪地使
泊後風向俄然東方ニ變レ晴レ模様トナリ晴雨計上昇ヲ始メ岬ヨリ
モルタ島ニ至ル間風浪漸ク靜穩ニ歸シ偏東輕風連吹セリ

海流 加外岬ヨリバコス岬ニ至ル間南西ニ流ル弱流ニ遇ヒカ其後

一眠位帯ニ風浪ニ偏壓セラレカリタ島ヲ指シテ航行セシキ毎時キ
目赤ノ風壓ヲ感シタリ

候前記事

天候 候前中北西風西ヨリ南西ニ廻リ晴雨計降下レ再ヒ西ヨリ北西

ニ復シテ晴雨計ノ上昇ヲ見ル約ニ輕風若クハ秋風ナリシカ十二日黎明南

方ノ疾風電ヲ伴ヒ降ルヲ教分間ニ至リ

隔離 初ノバツタ港ニ入泊セルセシガ里新本經田ノ故ヲ以テジバラムタ

ニ於ケル如ク交通遮断ノ港則ニ依リ具隣澳ヲガレシクシテクニ双鐵

泊之航尾ヲ浮標ニ探テ益々船側ニ十航ノ派遣シテ早衛シ炭水橋
計ニ至ルマテ一々巡査ラシテ其ノ受渡ラ監セシル等皆病者アリシ如ク
嫌疑セラレタリ

モル夕至カラマタ

航程 四百三十里

十二月十三日午後三時出航ガト島ノ南方五里ニ向テ操針セシカ十四日午後ニ
至リ南風次才ニ極吹波浪狂湧カ航ノ動揺四十五度ニ達シ奈針路ヲ保続シ
難キヲ以テ午後四時北緯四十五度廿四分東經十九度廿分ニ處ヨリ赤臘
ノ南端マツパン岬ニ要針度キニ及ヒ凡浪益々大航ノ動揺四十度以
上ニ及ヒ寢床ニ就ク能ハス午後十一時五十分更ニ針路ヲ左折シテカマタマ
ニ向テ半速カニテ進行十五日午後二時二十分カラカタ泊地ニ双錨泊シ
航尾ヲ陸岸ニ探テ

天候 出航ノ際ノ南西ノ輕風ニシテ長崎北西ヨリ来リシモモル夕島ヲ離ル
下瓦ノ七十里ニシテ風向漸々南ニ變シ凡力次亦ニ増加波浪ヲ操テ

今日夜半南々東に移り怒濤澎湃甲板ヲ撻跳ニ動揺殊ニ甚クニキリ
覺ヘタリ

碇泊記事

天候 本港候泊中、南東疾風又、海疾風連吹驟雨慮奉陰
晴掃リテ海と高浪相起セリ

カラマツ港 本港、希臘國ノ西南カラマツ港ノ北隅ニ位シ近時ノ築港ニ
係リ市街沙濱ノ南部ヨリ東方ニ向ヒ長ク約六百未突ノ長堤ヲ斗出シ
堤内水深三斗乃至五斗淺船十數隻ヲ繫泊スルノ計畫ニシテ此ノ長堤
目下尚ホ築造中ニテ堤内、淺潔船ヲ使用シ着々工事ニ従奉スル
ヲ見ル

岸頭附近尚ホ未ダ市街ヲサス道路ノ開通ヲ見ル止ムニモ距岸十數町ニ
シテカラマツ市街アリ人口凡ソ一万五千之レ亦ダ新開ノ市街ナルカ如キモ
其ノ駁々多有様々後來ノ繁盛ヲトスルニ足ル

此地守備隊四五百人あり其倉庫練兵場ノ如キ事多ク懸備セズ

内地ノ交通ノ不便ナル如キモ毎月一二回ノ商船ノ出入ヲ見ル

本港貯炭所ノ設ケル情事ノ供給未ダ充分ナラス所業ニ多量ナル煤類

ニ交ル

カラマタ至ホートセイト

航程 六百二十五里

十月十八日午後一時出帆台四時廿分マクパン岬トセリ島ノ南南角ヲ一線見

テクリート島ノ西方凡ノ五里ニ標針ヲ九日午前二時三十分ガト島ノ

因老ヲ左舷航有、発見シ五時三十分合燈光ヲ北三十二度東九里ニ見テ

ガミエツノ燈台ニ向テ標針セシガ其日午前ヨリ北東風急吹波浪高大

航位漸次南方ニ倚壓セラル、ツ以テ航ノ動揺上安全ノ界限ヲ固リコセ

ツ外燈台ヲ見ル如ク標針二十四分十時五十分合燈光ヲ南東七度南ニ

発見ス廿一日午前零時廿五分合燈台ヲ南十七度西凡九里ニ見テナシ

河口沿岸諸燈台ヲ凡ノ五里離ル、如ク標針ニ合十時廿五分ホートセイ

ト港口ニ近キ水先人ヲ乗セ令四十六分アラビヤヘリシニ暴風ス

天候 出帆ノ頃北々西ニ至程風ナリシカクリト島ニ近クニ後ト北東

ノ疾風トナリ晴雨計少シク上昇南東ニ進航スルニ後ト天曇リ晴雨計

降下シ風力漸減ナリル河口ニ近キ北々東又北々西ホ一區ク風トナリカ

一乃至三ニテ殆ト一定セザリシ

其航海中概々風浪ヲ左舷ニ指若ク右舷後ニ突ニ受ケシヲ以テ風

壓甚クシテ加フルニ天業陰掛射天測ヲナス能ハス且フ航ノ動揺四十五度

ヲ越スルヲ以テ波浪ヲ避ケ操針セトスレハ到港スヘキ錨地ナキニ苦ミシ

カ風浪漸減ニヨリ目的港ヘ航スルヲ以テ幸ト謂フベシ

復讞記事

天候 復讞中ニ南西風力四乃至五ヲ以テ速吹シ驟雨屢到リ晴陰

不定ナリシカ世四日午前ニ時頃風力俄然増加殆ト復原風トナリ

島ノニ少シク走錨セリ

報時球 日イライトハリスノ損上ニ没ケナリテ 鉄地ノ平時午前八時正午
及午後四時ノ三四ニ時辰ヲ報ス

蘇士運河航通

航程 八十七哩

十月廿五日午前八時十五分出航運河ニ入ル通航速力ハ初ノ特ニ會
社ニ交渉シハ船ヲ出シ行ヘキ旨ナリシモ水先人隨意ニ速カラ加減
シイヌツリヤ湖ニ至ルマテハ十餘即ラ出シ合湖ヨリ蘇士ニテハ十二節乃至十
三節ノ速カラ以テ進航シ午後五時四十分運河ヲ出テ蘇士港ニ接續ス
航通中汽船ト行途ハ一層々ナリシモ留ナ接續倒ヲ待ハス微速カニテ
行遠フヨリ

天候 廿八日曇天ニシテ約々南西ノ疾風ナリシ

蘇士至阿丁

航程 千三百二十哩

十月廿六日午後二時廿五分蘇士ヲ發シ港口ニ於テ有差側定ララシム
スーベル海峽ニ向フ廿七日午前八時十五分ニヤイトン燈台ヲ南四十度西

凡力一乃至三ニシテノシエトハル海峡ヨリ北緯三十一度東経四十一度ノ間ハ
 力一乃至三ノ北々西風我ヲ吹レヒ之ヨリ北緯十九度四十七分東経四十八
 度五十二分ニ至ル間ハ北々東風吹レヒ之ヨリ南々東々逆風トナリシ
 元世日正午(東経早度十北緯十六度廿五分)ニ至ルマテハ海上約チ
 微波若ク和浪ニシテノカリマウス出帆以來初ノ平穏ナル航海ヲ為セ
 シノ感アリシカ故日午後ヨリ天候次第ニ悪シク風力漸加波浪擢
 大也日午前三時天候益々陰悪風向南ニ変シカハ乃至九ノ邊ニ
 狂瀾怒濤海上翻沫飛散前途濛濛巨濤颯音ヲ打衝シ帆
 体或ハ浪間ニ着キ船激全帆ヲ展動シ眠ニ就ク能ハズ激浪上
 甲板ヲ浸掃シ船ノ帆布帆ノ固縛釘ハ松元ヨリ挫折セシ錯
 錯扉ハ浸水半ニ達シ帆尾ニ固縛セリ諸才官復所ハ破壊セラレ僅
 ニ流矢ヲ免カレ推進機ハ空回甚クシテ進航力毎時倍チ二里ニ
 足ラズ殊ニ兩岸ニ礁岨散布シ舟ルベキノ港ニ避クベキノ地ナラシ況

羅 輯

ニヤ昨日未天測スル能ハスレテ航任ノ詳カラザルヤ海面ノ光景尋
然ナリ加フル復水器漏洩ヲ来シ淡路ノ海水使用ノ結果コライミンガ
ヲ起シ航海猶ホ一層ノ困難ヲ極メ如斯ク迄ト患慮夜一日
午前一時卒シテシエバルソカノ島ノ北陰ニ近ツキ浪勢漸次ニ
体震動ヲ感セザルニ至リ

晴雨計ハ續チ増シ於テ三〇・七ナリシヲ漸次降下シ一月一日ニ九・五ニ
達シ三日至リ少シク上昇ヲ始メ浪稍キ靜マリ天候幸晴風力三
乃至四ニ減衰シ海上和浪トナリババルマレテア海峽ヲ過キ力ニ至リ

南東風トナリ

海流 ジューバル海峽ヨリ北岸セシ度カハ分東至世六度四十八分ニ至ル間
毎時四分ノ一節ノ速カシテ西ノ南ニ流ル潮流ニ過ヘリ

ヘリ島記事(英版海図ニカ九ニ)

今島ハバルマレテア海峽ニ横ル一ノ島ニシテ周圍凡ソハ里島頂具モ

三三

高十度三百呎ヲ出ラス全島岩石又ハ砂礫ニテ一ノ草木ナク南方ニ面シテ好耕

地ヲ形成セリ港内廣闊ナラスト余數隻汽船ヲ鎖泊セリ餘ノ一リ其南瓜岩

南東瓜原吹エリ底質ノ砂礫ニテ以テ採ク成憤セサルベカラス

島内電氣建州東洋電信會社止長所守備隊此水雷宮蓋涌水貯藏

等ニテ其他住民ノ家屋ナリ

船舶修理所一棟アリ規模狭小僅カク一部分ノ修理ヲナシ得ルノミ

同下港内ニコライター十八隻一五炭瓦百噸ヲ搭載シ得ル水船二隻(瓦五十

噸)ナルヲ見ル

此地南亞若ク東洋ヨリ賴士ニ向テ船舶ノ寄港シテ石炭補充ヲナスモノ

近年其數ヲ增加シ現時陸上ニ八十噸、英炭ヲ貯藏セリ之ニ具ノ亞丁、

於テナルニ比スレハ航路ノ凡ソ百五十里ノ短縮ヲ見ルニ由ル

少量ノ糧食、煤地ヲ持ベトモ元本ノ賴士ヨリ供給ヲ受クル所ナルヲ以テ

生野菜及菓實類ヲ持難ク只麵食、鶏卵及魚肉類ニ止ル

石炭及飲料水(並満水)一先分ナレ氏價廉ナラス、

守備隊トシテ現時印度兵五十人駐在セリ住民ノ現時千八百人ニテ卅三十人

ハ英人ナト云フ

天候 本島石泊中ノ連日陰鬱即ニテ北面風力ニ乃至三ツ以テ連吹ニ夜

間ハ約ニ降雨晴雨計ニ九^分ニヨリニ九^分ニ上界

一月六日午^前六時十五分ベリ^ハ島出航亞丁ニ向^テ午後四時十五分亞丁港ニ

ニ至^リ水先人ヲ乗セ^テ廿八分港内ニ投錨航尾ヲ一^号浮標ニ繋ク

天候 昨日午晴南東至輕風ナリモ^ハアンテナ岬ヨリ至^テ輕ノ東風トナ

ル海上半穩見方東方ノ余浪アリシニ

亞丁石泊記事

天候 晴朗ニテ北東信風ニ乃至三ツカツ以テ連吹ニ時々東風ニ變スルナリ

晴雨計ニ九九^分ヨリニ九^分ニ上界

本港石泊十日^間復水器ノ修理済機汰糶ノ手入^ヲ行^ヒテ^ハト^リマ^シニ商

一四

右

會ヨリ英炭百三噸ヲ購入シ後來ノ殘炭四十噸ヲ合セテ百七十噸ノ炭
量ヲ搭載シ吉倫母直航ノ準備ヲナス

亞丁至吉倫母

航程二千百七十哩

一月十五日午前七時十分出帆港口於テ自差ヲ測定シ今一時四十分至

丁南南ラス、アールシヤノ燈台ノ北一哩半ニ見テソコトヲ島ノ北方二十哩ニ標針

十七日午前七時十分右舷眺首ニソコトヲ島ヲ認メテ二時十分至島ノ東

端島頂ヲ南八度西巨霧氏ノ廿九里ニ見テニコイ島ニ向テ廿四午後六時

十分至島燈先ヲ北々東巨霧七思名ニ見テ吉倫母ヲ指ス廿四午後三時

四十分吉倫母燈台ヲ発見シ今四時十分港口ニ至リ水先人ヲ乗セ七時

港口東側ニ校鋪艇尾ヲ浮標ニ繋ク

天候 亞丁ヨリ北緯十度十三分東經六十度五十分、同凡向東北北

若クハ東北東ニシテ力ニ乃至四ツ以テ連吹シ之ヨリニコイ島ニ至ル間、力ニ

乃至三ノ北東又ハ北々東トナリ今島ヨリ北緯七度廿二分東經七十五度

廿三令ノ風ノ至輕ノ變向風ニ遇レズレヨリ古倫舟迄ニ風向南ニ東北東ニ
 復シ力ニ及至四ヲ以テ吹統セリ

亞丁灣航行中ニ天候半晴風向航前ニ尖ク以テ甚クシク動揺ヲ

感セサリシカテラビヤ海ニ入りテヨリ古倫舟ニ至ル間風力ニ比シテ改

浪高ク航ノ動揺ニ度乃至廿五度私雲断続飛行ニテ晴陰ナリ

廿日廿一日ノ兩日ニ暴々驟雨ニ遇ヘリ

海流

| | | | |
|-------|---------------------|-----|----------|
| 一月十九日 | 自直下 至ソコトラス島 | 正西 | 毎時一里乃至二里 |
| 一月十八日 | 北緯五度三十分 東經二十度五分 | 正西 | 二里 |
| 一月十九日 | 北緯十度二分 東經二十度五分 | 西々北 | 二里 |
| 一月二十日 | 北緯九度八分 東經十八度三十分 | 西々南 | 二里 |
| 一月廿一日 | 北緯八度三十分 東經十七度五十分 | 西々北 | 二里 |
| 一月廿二日 | 北緯七度五十分 東經十七度五十分 | 西々南 | 二里 |
| 一月廿三日 | 北緯七度五十分 東經十七度五分 | 西々南 | 二里 |

一月廿四日

北緯七度九分
東経七十九度一分

西より北

一會夜

破伯記事

天候

約々晴朗ニシテ北東ニ若ク北々東風軟吹(夕刻ヨリ時々北々

西風ニ変スルアリ)晴雨計二九七ニヨリ二九五ニ温度、昼間九十五度夜

間七十二度、間々昇降ス

廿七日午後三時因幡丸日本より入港

三十日午後六時出港

二十日午前八時露船アブリ日本船入港

廿七日午前二時出港

全 午後一時陽炎

入港

全 日午前晴

出港

古倫丹至新嘉坡

航程 千六百五里

廿七日午前七時廿五分出航向メナノニ号鎮校隣アリ到返ス午後一時修

理ヲ了レ出航錫蘭島ニ沿フテ南下シ左ノ時四分ドンドラ(フト燈光ヲ左舷

右舷ノ二重ニ見テスマト島ノ西北端プロウエイニ操針十日本午後六時十七分

プロウエイ燈光ヲ右舷飛首三尖ニ認メ復水番修理ノ為メ十時廿八分ハ只

ウエイ島ヶパン湾ニ入泊ス

二月十三日午後三時十五分出航ス凡一時間ヲ経テ復水碁キク漏洩ヲ生

スルヲ以テ又マトラ島クランラジヤ湾ニ返泊ス凡一六時間修繕成ルヲ以テ今

十一時五十分出航スタイヤモント岬ヲ旋リ馬刺岬海峽ニ向フ十五日午前五

時八分シヤラツク島ヲ右舷ニ横一里ニ見テ左海峽ニ入ル午後十時二十分

アロカニ島燈光ヲ左舷ニ横二里ニ過キ十六日午前七時三十分ロカニ燈光ヲ左舷

ニ横九里ニ見ル凡一八時五十分シンキ海峽ニ入り水先人ヲ乗セ全拾時十分新

嘉波アハバト船渠口ニ碇留ス

天候 吉倫丹ヨリフロラスニ至ル間約五手晴ニテ東北東風ニ至三ノ

カヲ以テ運吹シ海上和浪動揺ナシ度乃至二十度晴雨計ニ九七〇ヨリ九八八ノ

間ヲ昇降ス

フロウエイヨリ新嘉坡ニ至ル間モ天候半晴風候ハ出航ノ際ハ北東輕風ナリレガ

庭半ニ至テ正西ノ風ナリ之レヨリ海上半穩一尋燈塔ニ附ルヨリ麻刺

一六

加海峡通航中ニ至リ北東ノ風ニ過ヘリ然レモ航路陸岸ニ接スルヲ以テ海
 波微弱ナリキ
 海流

錫蘭島南岸

北緯 六度二分
 東經 八十二度四十分
 北緯 五度五十分
 東經 九十二度三十分
 北緯 五度四十分
 東經 九十二度五十分
 北緯 五度三十分
 東經 九十二度五十分

西ノ北 毎時一七哩

西ノ北 七 一七哩

西ノ北 七 二二哩

西ノ南 七 二六哩

パウエイ島記事 (北緯 五度 五十分 東經 九十九度 二十分)

本島ハスマトラ島ノ北端アリテハトラ洲ノ人口ノ最盛ナリ加海峡ノ入口ニ位シ新嘉
 坡ヲ去ル六百ノ里其ノ古俗ニ到ル航路ニ錯ルヲ以テ少載炭量ノ船舶ニ至テハ良好ノ
 載炭所タルベシ露暎アソクノ東洋ヨリ航路亦本島ニ立寄リ淡水糧食ノ補
 給ヲナシ其ノ好錫地也林藪モ亦本島ニ泊中和蘭軍艦ノスマトラ島警
 備ノ任ニ下ルモノニ隻茲ニテ右炭及淡水ヲ補給セリ

本島、長幅共約八里ニテ南方ニ湾、北方ニ湾、有シ、全島樹木繁茂、

諸所、硫黄温泉涌出ス

氣候、古俗母着ク、新嘉坡ト大差ナク、北東恒風、春々、南西恒風、ア、而シテ

四月、無風ノ候、アリト云、氏稱、山凡、輕吹シ、暑氣ヲ、排フト云フ

任民、土人凡、八百支、印人数百、欧人数十人、アリト云フ

守備兵、三四十ノ兵士アリ、陸軍大尉之ヲ、指揮ス

サハ、湾、本島ノ、北方ニ、位シ、フリ、オ、ラ、オ、エ、ト、湾、乘、情、ニ、アリ、テ、好、鋪、地、ヲ、形、成

ス、長サニ、事、余、幅、一、里、余、ニ、テ、水、深、十五、尋、ヨリ、廿、尋、ニ、テ、大、船、口、四、五、隻、ヲ

泊、ル、ニ、足、ル、底、質、ハ、砂、及、珊瑚、結、合、ヲ、成、シ、好、ク、鋪、瓦、ヲ、作、ス

持、橋、ハ、相、並、列、シ、テ、三、仙、アリ、右、長、七、十五、米、突、最、低、潮、ニ、於、テ、三、十、呎、大、砲、ト、並

横、着、シ、テ、炭、水、ヲ、貯、藏、ス、ル、ヲ、行、フ

炭、庫、ハ、棧、橋、ト、手、行、シ、テ、十二、棟、ノ、高、炭、庫、ヲ、設、ケ、アル、ヲ、以、テ、其、ノ、但、給、具、ヲ、使、キ、

淡、水、ハ、水、管、ヨリ、ホ、ス、ク、導、キ、直、ニ、給、水、ス、ル、ヲ、行、フ、一、昼、夜、十、噸、ナ、リ、ト、云、フ

糧食・えノ情ノ定見ナリ

浮船渠アリニテ百噸

新嘉坡修船記事

二月十七日午前土時陽炎出渠令土時十分有暇一暇底塗替ノ為メアルバト

船渠ニ入ル十九日午前十時出渠橋本復水器修理局ノ棧橋ニ繋留

二月廿日陽炎香港ニ出帆

廿日若狭凡入港軍艦朝日後夜員乗船ニ居リ

三月三日若狭出帆本艦修理ヲ了ム午前十時錫地ヲオルトハハレ

ニ移ス五日開院宮殿下佛國郵船ヲ本行ヲ停来着

天候 候泊後三日廿日概ニ北風若クハ北東風ニシテ力一ト至三天候手晴ノ

日多ク夕刻ニ至シ大抵驟雨来ルヲ常トス冥暖計共高百一度最低七十

一度晴雨計ニ九七二ヨリ九五一ノ間ヲ昇降ス三月三日ヨリ南西又ハ北西程風吹

来ス

本船乗組員等ノ修理ヲ行ハシ

一、船底葺替ハ 一、舷側葺替方 一、船前旗杆修理

一、復水塔管検査修理等

新嘉坡 至 香港

航程 千四百廿五里

三月廿四日午前七時三十分出帆 際シ帆索復水塔故障アリ出帆見合ス

三月廿五日午前七時廿五分出帆 港口ニ於テ自差測定アリシトシ帆索ハ帆索ニ向テ

十時三十分出帆 港口ニ於テ自差測定アリシトシ帆索ハ帆索ニ向テ

東方十里ニ至リ針午後二時合島ノ丸帆七幅見ル九里ニ見テ帆索ハ東方側

本航路ヲ取ル九日午後六時已ニ合流帆ヲ航過スルヲ以テ香港口カケヒツ

燈台ニ向テ操針ナリ午後九時廿五分合流島水道ヲ過キ午後五十分香港埠

船舖地ノ東方ニ双鋪泊ス

天候 出帆後北緯八度四十分東經百九度四十分ニ至ル三日間凡向区

区海上靜穏ナリシヲ以テ北緯度ヨリ北東風吹テ増加シ浪波漸々

海 一八

高起九日終日陰掛町ニシテ既ノ動程三十度ニ遠セリ十日香港ニ近クニ候
 七時々降雨風浪漸減然レ正午天測ニ能クナリシカ香港附近ノ島影ヲ悉
 見セシ片ハ約十度西方ニ流サレタリ知レシガフロクノ既ニ遠ニ至ル風トナル
 既ノ航海中ニ七日ノ西日ノ暑氣尤ク烈シクナリ室内百十度晴所百十二度ニ
 遠セリ而シテ十日香港ニ接近シテ氣候頓ニ冷業ヲ催セリ

海流

ホーランドル塔台ニ至ル間
 北東 八度 四十八分
 東至 一〇九度 四分
 北東 一三度 三分
 東至 一一七度 三分
 北東 一七度 一分
 東至 一一三度 二分
 南西ノ逆潮 毎時 海里
 南西 海流 々 半里
 北々東 々 一里
 東北東 々 半里
 南西 向

候怕記事

天候 概シテ陰掛町夜間雷霧多ク東風名ク北東風輕吹セリ
 三月十日日既執業入港 十三日佛國旗艦ト、アートルカストト号入港

十四日清國軍艦ハイチエン及ハイチー号入港

在泊東艦ロビクトリアス、センキエリオン、船渠、アムガカン、ラゴド、其外数隻

併艦ハスカル

香港 至 代世保

航程 千四百十五里

三月十音午前九時廿分出航、ライマ、水雷ヲ返キ、檣樯燈ニ消火ニ於テ百差ヲ測

定シ、今十時廿五分、今燈堂ノ南一里半ニ見テ、ラモック燈台ヲ指シ、正午ニ即テ復

水雷故障依テ午後二時十七分、ハレ、海ニ投錨修理ヲ行フ

今十六日午前十時七分出航、陸岸ニ沿テ航行、午後三時五十分、傷石鎮座ニ泊

シ、波浪ヲ避ク

今十七日波浪稍ヤ静ルヲ以テ午前六時出航、今十時廿五分、ブローカー角燈台ヲ先

航、正午三時半ニ見ル、正午ニ至テ、海波漸ク高ク、航機動揺甚シキヲ以テ午後

更ニ時四十五分、針塔ヲ變テ、汕頭港ニ向テ午後二時五十分、先内洋標ニ繫

泊ス

一九

今ナ付北東風内ホ止マス午前七時七分出航今ナ時二十五分南奥島水道ヲ
過テラ東方ニ操針セシカ海上險悪浪澎起前日ニ思ラス激浪危ハス
取橋ヲ侵掃シ動程三十五度推進機ノ空回削ヒキリ以テ午後一時五十分
銅山港ニ投錨ス

今廿日凡世大ニ減スルヲ以テ午前七時四十分出航今ナ時五十分トシヤル燈
台ヲ左舷ニ掃凡一目見テラシトバウト燈台ノ東方ナ里ヲ指ス午後十時
今燈台ヲ左舷ニ掃凡ノ十三里ニ見テ東引島ニ向テ廿日午前六時今島ヲ
九里ニ隔テ見テ男力廿群島ニ向テは曾午前九時十分五島ヲ過テ寺島
水道ニ向テ午後一時四十分寺島水道ヲ經テ今二時五十分也係軍港才五
活撥ニ整泊ス

天候 今昔香港ヲ卷シ廿日東引島ニ至向道日陰混天日ヲ見ス
露雨霧濛々トシテ時々雨ヲ降シ北東風ニ由リカヲ以テ徐吹シ海上波
浪島大ナル以テ沿岸針路ヲ取リ銅山港ニ至テ天候益々險悪候向三日

廿日午前至リ風力少シク概シ夕インアバウト島ニ近ク頃初ノ夕暮ニ見ル
 之レヨリ天候稍々晴換係トナリ北東風力五乃至四ニ減衰ス北緯廿七度
 五十分東至南廿二度四十分ニ風向東變シ悔波吹才ニ平靜ニ將セシモ廿三日
 午後七時頃より(此日天測ニ能ク)風向俄然南東ニ變シ漸次南ニ廻リ
 風力増加急雨之ニ來シト子ニ及リ風力七乃至八ニ達シ晴雨計暴降
 全ク甚天トナル廿四日午前九時五島ニ南東端ニ近キ頃風向南西ニ
 シ南東ノ余濤ニ南西風波ト相闘シ尖浪湧起シテ航ノ動揺四六度
 ノガ午前十時雨止ニ風勢少ク減ス伊世保入港ニ際疾風トナレリ
 候河記事

天候 約ノ曇天北風又ニ北東風輕吹ニ警報降下セス

口首伊世保鎮守府司令長官來航

伊世保至門司

航程 百三十八里

廿七日午前八時四十分出航生月瀬戸ヲ通過シ島岡子燈台ノ南方一里

大島ノ北ニ二日ニ操針シ午後四時四十分ニ渡島燈台ト並テ島嶼愉快ニ入
六時十分内司港東側ニ碇

天候 手晴北西風力四ノ五海上は浪ナリニニ島端子島ヨリ以東は順
凡ソリシラ以テ少シニ困難ヲ感セザリシ

内司至粟島

航程 百五十三里

廿日午前二時出航海峡ヲ出テ本山浮標ノ北側ヲ過テ産島ノ南方ニ見テ
航路ニ伴航路ヲ取リ午後三時四十分至粟島航路ヲ往テ六時三十分

粟島北方錨地ニ泊ス

天候 快晴北西風輕吹

粟島至横須賀

航程 四百十四里

廿九日午前六時出航本航路ヲ取リ十豆島地田湾附近ニ於テ自差ヲ測クニ

午後零時四十分台海峡ヲ通過シ今二時七分至島水道ヲ往テ日ノ崎

市江崎ヲ三海軍ニ望ミ今七時四十分潮岬燈光ヲ北々西ニ在リ三里ニ見テ神

子元燈台ニ直航 三十日午前十時五十分全燈台ト並ニ合一時四十五分剣崎
ト並ニ合ニ時五十分横濱有ニ不才ニ浮標ニ環角

天候 快晴漸ク内航途中ハ至程風アリ風向北ニシテ一足セズ友ヶ島ヨリ
北々東風トナリカニ乃至三沙岬ヲ巨ル風ノ三十冠ノ風ヨリ風力頓ニ増加北
東雄風吹来ニ波浪高ク航ノ動揺甚ク大ニ風壓ヲ感セリ此所岬ノ
南ニ遠ニ反テ風力漸減相模海ニ入りテ東風トナリ海上平靜ニ帰リ

羅針儀ニ付テ

本航備有ノ羅針儀ハ、アトキ、エト、ソニ会社 カロリワト、コンパニシテクリール
ハイニニ於テ全社ヨリ修直人出張シテ自差ノ修直ヲ行ヒ其差一ニ度内外
ニ止マリポートセイトニ到ルマテ自差ノ変動至リテ微少ナリニモ自差ノ海
境及江海ノ北部ニ於テ行ケル自差測定ノ際ハ急劇ノ自差ヲ生シ
北々東ヨリ東北東間ニ於テ一度半東ノ自差ヲ計テ翌々日ノ測定ニハ

自差ノ変動
カニシテ不
自差ノ変動
カニシテ不

上記ノ自差ハ凡ノ一度ヲ減少シタルモ更ニ正西ニ航ラハ三度五十分西ニ増加
 シテ正度西トナレリ之ヲ以テ茲ハ航海舟ニ全周自差ノ測定ヲ行ヒタリ
 スマトラ島北岸タイヤモンドヘット附近航行ノ際自差ノ急変(四度)
 ヲ感シタリシカ麻刺加海峡ニ航入タル後ヲ用ヒ元ニ復シタリ
 本艇ハ便宜上常ニ艇橋ニ備付タル者ヲ使用セリ
 經線儀ニ付テ
 本艇經線儀ハ士官室内ニ裝備セラレ毎航海艇ノ滾動ニ關セズ時
 差ヲ生ゼザリシハ幸ナリシ

郵航一覽表

| 寄港地名 | 投箱月日時刻 | 航海時 | 航程 | 毎時平均海上速度力 | 積荷時間 |
|--------|--|----------|-----|-----------|----------------------------|
| グリンハイム | 十月十六日午前九時三十分 十月十七日午前九時三十分 | 十五時廿五分 | 一六六 | 一〇・七 | 積荷 二日十七時三十分 積荷 二日十七時三十分 |
| ホーツマウス | 廿日午前九時三十分 | 二時廿六分 | 六九 | 一〇・六 | 二日十九時十五分 |
| ポートランド | 廿日午前八時三十分 | 八時三十分 | 九三 | 一〇・九 | 二日二十時四十分 |
| プリマウス | 十月十七日午前九時四十分 十月十八日午前九時四十分 | 日三時二十五分 | 二一七 | 九・三 | 二日十九時三十分 |
| プレス | 廿日午前九時三十分 | 三時一十分 | 七一〇 | 九・八 | 二日二十二時 |
| 里斯本 | 廿四日午前九時三十分 廿六日午前九時三十分 廿七日午前九時三十分 | 一日七時四十分 | 三一〇 | 九・八 | 一日三時三十分 |
| シブラルター | 十月十七日午前九時四十分 | 三時五十分 | 二〇七 | 九・四 | 二日十七時十分 |
| ギョフブイリ | 四日午前九時四十分 | 十時五十分 | 二〇七 | 九・四 | 十三時十分 |
| 馬太島 | 廿日午前九時三十分 | 一日廿三時三十分 | 四三〇 | 九・〇 | 八日五時三十分 |
| カラマタ | 廿日午前九時三十分 | 二日廿二時四十分 | 六六五 | 九・三 | 二日廿二時四十分 |
| ポートセイド | 廿日午前八時十五分 | 九時三十分 | 八七 | 九・一 | 三日二十時一分 |

| | | | | | |
|--------|---------------|-----------------|-----|---|----------|
| 類士 | 三月二十日 午前九時五十分 | 九日 九時五十分 一二八 | 九五 | 荒 | 二十時四十分 |
| シマノツカ | 三月二十日 午前九時四十分 | 十日 九時五十分 九一 | 八七 | 荒 | 二月二十時三十分 |
| ベリム島 | 三月二十日 午前八時四十分 | 十一日 九時五十分 一〇一 | 九七 | 荒 | 二月十三時四十分 |
| 重 | 三月二十日 午前七時四十分 | 十二日 九時五十分 二一七〇 | 九二 | 荒 | 二月十四時四十分 |
| 吉倫丹 | 三月二十日 午前七時三十分 | 十三日 九時五十分 三六〇 | 九五 | 荒 | 二月十五時五十分 |
| ウエ | 三月二十日 午前七時二十分 | 十四日 九時五十分 一〇九 | 八〇 | 荒 | 二月十六時四十分 |
| クランクラン | 三月二十日 午前七時十分 | 十五日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月十七時五十分 |
| 新加坡 | 三月二十日 午前七時五分 | 十六日 九時五十分 一〇九 | 八〇 | 荒 | 二月十八時五十分 |
| 香港 | 三月二十日 午前七時 | 十七日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月十九時五十分 |
| ハーレー湾 | 三月二十日 午前六時五十分 | 十八日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月二十時五十分 |
| 碇石嶺 | 三月二十日 午前六時四十分 | 十九日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月二十時五十分 |
| 汕頭 | 三月二十日 午前六時三十分 | 二十日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月二十時五十分 |
| 銅山港 | 三月二十日 午前六時二十分 | 二十一日 九時五十分 二四二五 | 一〇九 | 荒 | 二月二十時五十分 |

合計

| 代世保 | 内司 | 粟島 | 横江 | 合計 |
|--------------|------------|------------|------------|--------------|
| 三月廿四日午前二時三十分 | 廿七日午前六時四十分 | 廿八日午前六時三十分 | 廿九日午前六時三十分 | 三月廿四日午前二時三十分 |
| 九時四十分 | 十二時三十分 | 一日八時五十分 | 五十一日一時三十分 | 五十一日一時三十分 |
| 一三八一四二 | 一五三一三一 | 四一四一三九 | 一三二三四 | 一三二三四 |
| 二百八時三十分 | 十時三十分 | 十時三十分 | | 百十六日一時四分 |

三三

| 地名 | 仕掛額 | 項目 | 記事 |
|--------|----------|-----|--------------------|
| グレンハイム | 一割 〇 志 | 水先料 | グレンハイムよりオーストラリアに |
| ポーツマウス | 一割 四 志 | 全 | 軍艦出入港降軍艦部より派遣せしモノハ |
| ポートランド | 〇 一 志 | 全 | 入港ノ際 |
| プリマウス | 一割 〇 志 | 全 | 全 |
| 全 | 三割 〇 志 | 全 | グレンハイムに棧橋へ往復一回往一回分 |
| 全 | 六割 〇 志 | 乗船料 | 全 |
| 全 | 三割 一 〇 志 | 整留料 | 全 棧橋へ整留料七日分 |
| 全 | 〇 一 志 | 主港費 | カワトマオスターに於 |
| 全 | 〇 一 〇 志 | 心付 | ハモード軍艦浮標へ整留料換降降舟員へ |
| プレスト | 一割 一 志 | 水先料 | 出入港 |
| 里斯本 | 二割 六 志 | 全 | 全 |

~~東徳名物記
無事十六六勝
や園上ルヤ
シルヤ不~~

| | | | | |
|---|--------|-----------|------|---------------|
| 全 | シブラルター | 一割 一志 | 水先料 | 浮標へ |
| 全 | モル夕 | 一割 〇 | 水先料 | 入塊、陰 |
| 全 | ポトセイト | 二割 一〇五 | 學雞料 | 整前料及整固料外 |
| 全 | 全 | 一五 一〇八 | 整酒料 | 三日分 |
| 全 | 全 | 一三 一〇志 | 整前料 | 整前、陰 |
| 全 | 全 | 一割 〇 | 水先料 | イヌノリヤ湖・於テ水先人へ |
| 全 | 全 | 一五 〇 | 入袋ノ陰 | |
| 全 | 全 | 一〇 | | |
| 全 | 全 | 一〇 | | |
| 全 | 全 | 一〇 | | |

一五
二四

炭水拾載表

| 地名 | 石炭 拾載量 | 単價 拾載量 | 炭水 拾載量 | 單價 拾載量 |
|--------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| クレーバース | 一〇、 | 六、 | 新 | 良 |
| ポーワマウ | 一、 | 二、 | 五 | 良 |
| アリマウス | 八、 | 二、 | 一、 | 五 良 |
| 合 | 一、 | 五、 | 三、 | 良 |
| アレスト | 二、 | 三、 | 六、 | 良 |
| 里新本 | 五、 | 二、 | 九、 | 良 |
| シブレンター | 四、 | 七、 | 六、 | 良 |
| 身太島 | 九、 | 二、 | 六、 | 三、 四、 良 |
| カラマタ | 五、 | 五、 | 五、 | 良 |
| ポートセイド | 八、 | 二、 | 三、 | 九、 三、 良 |
| サ横士 | 四、 | 四、 | 六、 | 良 |

一、
二、

| | | | | |
|-------|----------|----------|----------|----------|
| 地名 | 石炭 杉藪 | 草紙 杉藪 | 清水 杉藪 | 中價 杉藪 |
| ペリロ島 | 三三 | 四〇 | 一五五 | 一三〇 |
| 豆丁 | 一三六 | 三八 | 二六五 | 一三六 |
| 吉備丹 | 一一〇 | 三五 | 四二 | 三三 |
| プロウエイ | | 一四 | 一八 | |
| 新嘉坡 | 一三六 | 三八 | 不明 | |
| 香港 | 八〇 | 二五 | 二二 | 二五 |
| 汕頭 | | | 五五 | |
| 伏世保 | 五〇 | 一五 | 九 | |
| 合計 | 八九七 | 五 | | |

洋 台

供覽

閱

枋

西務局長

印

陽普第七七号

檢閱

岩

軍務局長

印

信務局長

印

印

印

二七〇九

若和

報告

三十三年一月六日午前四時蘇士出艇亞丁：向ノ天候晴シ晴雨計、卷ノ時迄
 〇乃至二九吋九九寒暖計八十八度凡位區々其力微弱ニテ海上極ノ静
 穩七百午ノ前二時四十分ノ下ノ山島ヲ左返ス頃ヨリ至輕北風トナリモ晴雨
 計漸次降下ノ始メ地平線ニ濃氣ヲ帯ビ大氣湿润南方ヨリ長清次
 才ニ来リ紅海南部ニ於テ南東風吹来ノ微候ヲ呈ス然レモ九日午ノ前
 九時(北緯十九度十分東至三十九度十分)ノ地ニ達ス迄ハ晴雨計漸次降下
 シ偏東南風徐吹スニシテ南ノ下ニ從テ南ノ東ノ風強ク其力老
 弱ニ達シ晴雨計ハ降下ニ九五ニテ南来其風力衰ハ六羽至十日午前時
 (北緯十九度十分東至三十九度十分)ニ至テ風力最強七乃至八ニ達シ艇ノ動搖
 早度ニ及ビ且逆風尤ク以テ充分ニ流カリ用テ能ク安巴ク得テ一時間五哩

八八號

一

一

乃至冬哩(速)カヨリテセバ止諸島、西側ヲ左テ大凡老松を射間遂航セリ
 如^斯微速カヨリテ航セキ比較的少量ノ石炭ヲ費シ大ニ不経済ナルニシテ長時
 間、難航ニ航莫ク勞働モ亦少カラザラテ新歌避泊ニ決シテ日正午^{セバ}ハ^カト
 北方避泊錨地ニ仮泊ス錨地ハ全島北側ト^ハイ^テト^ト間^ハ水深極五ヨ尋
 能ク南向、強風ヲ遮シ敵^ト南来風力、衰ルヲ待ツモ更ラ^ニ其北候ヲ呈セズ殊^ニ
 舟自午後八時頃ヨリ翌日正午頃迄日強吹、時期大^ニ而シテ正午頃ヨリ午後八時
 頃迄ハ風向変セ覺モ大ニ其力減スヲ見テ仍テは風力衰ル^ニ時期、乘ヒテ
 聊カナリトモ進行セシ^ニ決シテ四日正午左錨地出航紅海西岸^トハ^イト^ト灣(Madaket Bay)
 ニ向テ翌々午後六時半該灣ニ投錨ス比間大候前ニ異ナラズ唯々風向南^ニ東
 ニ在リテカセ、ハ晴雨計ノ暴降ニ九時方四ヨリ九時五九、間^ニリテ^ハグレートハミ^ニニ
 島ノ南西部ニ五尺波浪高、艇、白動止^ニキ^リシ
 飛^ハル^ト灣^ハ紅海、西岸亞非利加^ノ一^ト地^ト伊^ノ頗^クア^シン^クア^ブ港(Aden)ノ距^ル北^風大^向
 ニ千哩ニ一灣ニシテ^ハト^ト岬^ノ北^方ニ突出シテ小半島、形ヲ^シ岬^端ヲ^南西^ニ屈^スル

一、大凡六哩能なる南風ヲ遮蔽ス湾ノ西方ニ一小島アリ、ホアイトアイランドト稱ス、嶺地ハ
 該島トハ一ニ岬ト内方ニアリテ水深陸岸ヲ次方ニ深ク四五尋乃至七八ヨ尋ノ地ハ
 艦艇ノ避泊ニ適ク湾ノ西側ニ二個ノ暗礁アリ長何レヲ入港スルニハ一ニラビ岬ヲ認
 視シテ近接スルニハ更ニ危險ヲ見ズ、又此湾ニ入ルニ目標トスルハ、ホアイアイランド
 ノ白色大ト陸地ノ該島ニ對テ所ハ白砂堆積シテ遠シク海ヲ能ク認識スルヲ
 得ルハ、湾岸民々陸地ハ赭山起伏シテ海岸附近ニ少許ノ樹木見ルニミシトテ
 七哩ヲ隔テ、一小村アリトテ、此地鮮菓及蛤貝多クシ
 翌十五日再ヒ右ノ時期ニ乘テ南トリ試ミントシテ、風力強烈、如ク衰ヘス、左夜六
 時^{五分}ハバハ^ハコン^ニ至シ、海峡ニ近ク、從ヒ風力次第ニ衰ヘ意外ニ平穩ニ南トリ過ルヲ
 得ル、然レモ前詭ノ如ク連日難航、為テ意外ニ多量ノ石炭ヲ消費シ、且庫炭
 量拮据、許リ減シタルヲ以テ、十六日黎明ハ、入港左地ニテ石炭六十噸ヲ搭載
 シ、翌十七日午前六時左地出帆、右日午後四時始テ、亞下ニ入港ス、一ツ停リ、蘇士
 出帆以、未嘗ニ十日間往々強風怒濤、遭逢スルニ、艇体、極度ノ倒ニ依テ、強健

ニテ艇員ニ於テモ亦何ノ異状ヲ見ス
右ノ通亞丁延着、理由及本艇ノ現状及報告後也

明治三十四年一月五日

亞丁港

陽谷艇長 岩村國次

軍務局長 諸岡頼之殿

英國軍艦數艘 (Mencaton, Barkham, Harrier 等) 紅海及亞刺比亞海岸ヲ
絶ヘテ進進亞刺比亞スバールニ戦々ニ関シ改行諸國ノ動靜就中極速ニ運
動ノ最モ注意ヲ着テ見リ好キ取跡アリ見聞セリ其カ右ノヤリトシ亞丁ニ於
テ左ノ軍艦頻頻進出アリ見テ右ノ事ニ於テ附記致ス也